

平成25年度事業報告書

社会福祉法人大任町社会福祉協議会

1 事業の概要

相次ぐ大規模な災害の影響もあり、近年、改めて地域における「つながり」、「絆」の大切さが見直され、その再構築に向けて、官民一体となった取り組みが求められている。

こうした中、九州北部豪雨災害を教訓として田川地区8市町村社会福祉協議会合同で災害ボランティアセンター設置運営の訓練を行い、日ごろからの準備の大切さと更なる防災力向上への取り組みの強化を痛感させられた。

また、少子高齢社会の進展や地域における連帯感の希薄化などに伴い、これまでの福祉制度の枠組みだけで対応することが困難な状況にあり、新たなサービスの創設に向けて準備が必要であると感じた。

こうした中で本年度は、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け創意工夫と「人に寄り添い型」事業を行わなければならないと考える。

2 事業の状況

(1) 法人の会務

イ 理事会の開催状況

平成25年度第1回理事会

(期 日) 平成25年6月14日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 理事定数8名中6名出席、委任状提出理事1名、監事定数2名中2名出席

議案番号	内 容
第 1 号	平成24年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業報告の承認を求めることについて
第 2 号	平成24年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会決算の承認を求めることについて
第 3 号	平成24年度福岡県共同募金会大任町支会事業報告の承認を求めることについて
第 4 号	平成24年度福岡県共同募金会大任町支会事務費決算の承認を求めることについて

平成25年度第2回理事会

(期 日) 平成26年 3月26日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 理事定数8名中7名出席、委任状提出理事1名、監事定数2名中2名出席

議案番号	内 容
報告第1号	専決処分の報告について
第 5 号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業計画の同意を求めることについて

第 6号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会予算の同意を求めることについて
第 7号	平成26年度福岡県共同募金会大任町支会事業計画の同意を求めることについて
第 8号	平成26年度福岡県共同募金会大任町支会事務費予算の同意を求めることについて
第 9号	社会福祉法人大任町社会福祉協議会評議員の委嘱の同意を求めることについて

ロ 評議員会の開催状況

平成25年度第1回評議員会

(期 日) 平成25年6月14日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 評議員定数17名中14名出席、監事定数2名中2名出席

議案番号	内 容
第 1号	平成24年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業報告の承認を求めることについて
第 2号	平成24年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会決算の承認を求めることについて

平成25年度第2回評議員会

(期 日) 平成26年 3月26日

(場 所) 大任町役場 視聴覚室

(出席状況) 評議員定数17名中13名出席

議案番号	内 容
第 3号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会事業計画の同意を求めることについて
第 4号	平成26年度社会福祉法人大任町社会福祉協議会予算の同意を求めることについて

(2) 諸規程・規則の制定、改正

平成25年度、諸規程・規則の制定、改正は行っていない。

(3) 心配ごと相談事業

毎週水曜日午前10時から行っている本事業は、相談員による解決よりも法務局や弁護士による無料相談など専門的な他機関への繋ぎとしての位置づけが確立した。本年度の相談件数は、7件であった。

(4) 配食サービス事業

毎週火曜日に実施している本事業は、大任町食生活改善推進委員会のボランティア精神により支えられ、年48回、年2,283件、延べ2,383食を提供した。今後もよ

り良い事業運営、地産地消を目指すとともに衛生管理等を徹底したいと考える。

(5) 共同募金

本年度も10月1日から12月末日までの間、「共同募金運動期間」と定められていることから本会も共同募金に協力、募金活動については、行政区における戸別募金として行政区長にお願いした。

本年度の目標額 634,000円

本年度の実績額 584,747円

なお、平成25年度社会福祉協議会枠(B枠)配分金(390,900円)の主な用途については、下記のとおり。

事業名	金額	備考
高齢者福祉活動費	265,000円	配食サービス、ゲートボール大会開催
障害児者福祉活動費	100,000円	配食サービス
児童・青少年福祉活動費	8,000円	福祉読本配布事業
住民全般福祉活動費	17,900円	花いっぱいボランティア事業

(6) 葬祭祭壇貸付事業

平成25年度

5件

(7) ボランティア関係

社会福祉法第109条に基づき、共同募金配分金を主な財源として「大任町花いっぱい運動」を後押しするためボランティア活動の支援を行ってきた。

平成25年度は2回(5月12日・12月1日)の花植えを行い、町内外を問わず、延べ900人以上の参加があった。

(8) 地域子育て支援センター

地域子育て支援の拠点として設置された地域子育て支援センターでは、年間を通じて新生児宅の戸別訪問33件と親子のスキンシップを目的として乳児を対象とした「わかばちゃん講座」を1クール6日間、年3回の18日開催し参加延べ80名、託児付で親子の思い出づくりができるように年6回「手作り講座」に51人の参加、乳幼児に対する救命講座と母親に対する健康体操等を行った。

また、子育て親子の交流の場として施設を開放し、年間156名の利用があり、毎月増加傾向にある。

本事業を展開するにあたり、主任児童委員の協力を得て月1回ミーティングを行い、情報の共有を図った。

(9) コミュニティバス運営事業

本町のコミュニティバスは、町内17バス停を設置し、各バス停間を運行しながら田

川伊田駅に向かうコミュニティバス（西鉄バス代替2台運行）、手を挙げて貰うなどの乗車意思を示して頂くと停車し、町内を巡回の後、添田駅に向うコミュニティバス（福祉バス1台運行）の2形態を採用している。

平成25年度の田川伊田駅に向かうコミュニティバス利用者数は、年75,524人（1日平均乗車206.91人）で乗降調査から通学生、道の駅やスーパーの利用などが読取れる。

一方、町内を巡回したあと添田駅に向うコミュニティバス利用者数は、年2,919人（1日平均乗車11.58人）で同じく乗降調査の結果から道の駅や病院の利用者が乗車している様子が読取れる。

（10） 地域包括支援センター

本年度は、地域包括支援センターとして町内介護サービス提供事業所の介護支援専門員との連携強化を目的として連絡会を設置し、情報の共有を行った。

また、啓発活動として増加が続く認知症への理解を深めてもらうことを目的とした「認知症サポーター養成講座」を開催したところ60名の住民参加があった。今後もこの啓発活動を推進したいと考えている。

さらに、地域包括支援センターで直接行った年間ケアプラン作成数は1,324件、介護予防支援事業収入は5,331,760円であった。

なお、一部委託事業分も合わせた本町全体の介護予防に係るケアプラン件数1,691件、事業収入は6,975,800円であった。